

チケットのお求め方法

発売初日は10:00から電話とインターネット受付のみで、
窓口販売はございません。

電話予約 三鷹市芸術文化センター Tel: 0422-47-5122 (受付時間 10:00-19:00)

窓口販売 販売場所: 芸術文化センター / 三鷹市公会堂 (さんさん館) / 美術ギャラリー 受付時間 10:00-19:00
休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館) *美術ギャラリー臨時休館日 9/10(火)~20(金)
*美術ギャラリーは展覧会開催中のため7/17(水)、8/14(水)は開館いたしますが、チケット販売・施設利用申込の窓口業務は休止させていただきます。

インターネット予約 (要事前登録) <https://mitaka-art.jp/ticket>

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます

口座番号〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156 加入者名 **三鷹市芸術文化センター**
*備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に〈予約番号〉をご記入ください。*振込手数料はお客様のご負担になります。
*普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振り込みください。*お振り込み後、10日程度でチケットをお届けします。

MARCL〈マークル〉会員募集中!! 年会費 2,000円

講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/>

スポーツ教室や市民大学、生涯学習講座などをインターネットからお申し込みできます。



公演事業では、特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。
このマークがついている公演には託児サービスがあります。 料金: 500円 定員: 10人
対象: 1歳~未就学児 お申し込み: 各公演の2週間前までに芸術文化センターへ (先着順)

三鷹駅からのバスのご案内

三鷹市芸術文化センター【三鷹駅から1.2km】
JR三鷹駅南口2番乗り場から3つ目「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ。
または6・7番乗り場から「八幡前」下車1分
またはJR三鷹駅南口から徒歩約15分

三鷹市公会堂【三鷹駅から2.3km】
JR三鷹駅南口7番乗り場(鷹54)または3番乗り場(鷹66)から「三鷹市役所前」下車すぐ。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ【三鷹駅から2.6km】
JR三鷹駅南口7番乗り場(鷹54)または3番乗り場(鷹66)から「三鷹市役所前」または「三鷹農協前」下車徒歩約5分

*JR三鷹駅南口6番乗り場から、**みたかシティバス**(北野ルート)もご利用いただけます。

財団からのお知らせ

令和元年6月1日付けで新たに馬男木 賢一まなま けんいちが理事長に就任いたしました。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

August 2019

公益財団法人
三鷹市スポーツと文化財団
情報誌【マークルプラス】

MARCL+ 148

音楽・演劇・美術・文芸・スポーツ・生涯学習



©Charlotte Abramow, DG

ネマニャ・ラドゥロヴィチ presents ドーブル・サンス

2020年3月8日(日) 14:00開演
三鷹市芸術文化センター 風のホール

Music P16

Interview

MONO 土田英生 × 奥村泰彦 × 高橋明日香 P5

Pick up

ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ P15

Workshop

茶道体験教室 P12
こどもアートクラブ 時間旅行へ出かけよう P20

Music

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア P17
アマンディエヌ・ベイエ (ヴァイオリン)
& リ・インコニティ P18
みたかジュニア・オーケストラ P19

Theater

MITAKA "Next" Selection 20th
第27班・犬飼勝哉・ゆうめい P1
CINEMA SPECIAL 名監督×名女優
三遊亭兼好 P11
神田松之丞 P11
柳亭市馬 P12

Literature

企画展示 コピーライター 太宰治
太宰治作品朗読会 P8
企画展 女人哀詞の時代 / 翻訳ものの世界
ガイドボランティア養成講座 P13
スケッチコンテスト作品募集 P14
アフタヌーン・ミニコンサート / おはなし会 P14

Sports

サッカー教室 P21
スポーツ教室 P22

Lifelong Learning

生涯学習センターフェスティバル
参加グループ募集 P23
やさしいジャズ・ヴォーカル P23
ラジオ工作教室 P24
世界5大ウイスキーの魅力を探る P24

MITAKA "Next" Selection 20th

脚本・演出・構成力に優れ、今後の飛躍が期待される劇団を集めて贈る、MITAKA "Next" Selection が20回目を迎えました。今年の3劇団も、いずれ劣らぬ舞台を創り上げている劇団ばかりです。星のホールで、新たな才能が開花する姿を、ぜひご覧ください。

第27班『潜狂』

嘘を嘘無く描き、真実をエンターテインメントに昇華させる、圧倒的な筆力。その、切れ味に満ちたセリフが、人の世の業を、幾重にも炙り出す。『第27班』。

8月23日(金)～9月1日(日) 全12公演

作・演出 深谷晃成

『どうしよう 孤独だ 困ったな』 2018年2月 / アドリエヘリコプター / 撮影:大部

犬飼勝哉『ノーマル』

日常のありふれた会話が、何一つ気負うことなく、果てしなく膨張していく。あなたの心の罅を隙間なく埋めていく、ここにしかない空気感。『犬飼勝哉』。

9月6日(金)～16日(月・祝) 全12公演

作・演出 犬飼勝哉

『我着地、クワイエット』 2014年2月 / 撮影者:川本直人

ゆうめい『姿』

正も誤も定めず、すべての人生をかき混ぜて見つめる、人間への愛おしき視線。フィクションか否か、その狭間に吸い込まれていく、稀有なる感覚。『ゆうめい』。

10月4日(金)～14日(月・祝) 全13公演

作・演出 池田亮

『あか』 2018年6月 / 新宿眼科画廊 スペース0 / 撮影:竹久直樹

“こんな差別を助長する発言をするなんて有識者とは思えない。死んだ方が良い。”
知らない誰かが知らない誰かを批判したRTが回ってきた。僕はいいねを押した。
“言いたい事分かるよね? やれって言われたんだからやろうよ。もう大人なんだしね。”
僕は笑顔で頷いた。あの時本当は何を考えていたのかはもう思い出せない。

なんて小さな言葉なんだ。なんて弱い心なんだ。
吐き出されなかったその熱はまだ奥底に潜んでいる。

僕の声では届かないのなら、音に換えて響かせよう。
誰にも届かない僕達が放つ、渾身の一撃。音楽。熱狂。

第27班が令和に贈る、演奏群像劇。



作・演出 深谷晃成



第27班『潜狂』

出演 鈴木 研、樹 七葉、鈴木あかり、
佐藤新太、深谷晃成 (以上、第27班)
土屋シオン、松田将希、橋 麦、吉田 能 (あやめ十八番)、
須賀拓夢、もりみさき、加茂井彩音、
宝保里実 (コンソンス)、古川さら、三宅 勝

8月23日(金)～9月1日(日) 全12公演

チケット発売日 会員 7月25日(木) / 一般 7月26日(金)

	8/23 (金)	24 (土)	25 (日)	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	9/1 (日)
14:00		★【託】	★	休館日			☆		●	●
19:00		★【託】							●	●
19:30	★								●	●

★…早期観劇割引 ☆…平日昼公演割引 【託】…託児サービス

全席自由 (日時指定・整理番号付)

【会員】前売3,000円・当日3,300円

【一般】前売3,500円・当日3,800円

【学生】前売・当日とも2,000円(公演当日、学生証を拝見)

【高校生以下】前売・当日とも1,000円(公演当日、学生証を拝見)

★早期観劇割引 ☆平日昼間割引の回は各500円引き

【劇団プロフィール】

代表の深谷晃成が尚美学園大学総合演劇コースにて若林一男氏に会話劇の演技演出を学び、2013年に劇団「第27班」を結成、旗揚げ。『令和の群像劇』をコンセプトに、リアルタイムを生きる人々の苦悩、葛藤、恋愛、性をテーマにおセンチとユーモアを織り交ぜた群像劇を創る。

HP: <https://teamthe27.wixsite.com/official27> Twitter: @TeamThe27

深谷晃成さんからのメッセージ

つまらない演劇や映画が多くてウンザリしています。全く敵わない天才鬼才がわんさかいて辟易しています。見上げても見下しても果てしなくごちゃごちゃしていて雁字搦めです。頭を掻き毟りました。

今回は生演奏の会話群像劇をやろうと思っています。音楽教師の母の元に生まれ、子供の頃からピアノ、バイオリン、ゴスペルコーラス、コントラバス等色々やってきました。自分の半生を共にした五線譜と自分の戦場である脚本に僕が今できる全部を乗せようと思います。頑張ります。

『コーポルベイビーズ』
2018年6月
下北沢 駅前劇場
撮影:大部



演劇

2

芸術文化センター 星のホール

《インタビュー》

MONO



「一発芸的な笑い」ではなく「上手な役者がきちんと演じた時に生まれる笑い」が好きです。演劇をしっかりとやっている人が作る笑いのほうが、断然面白いと思っています。そういう意味で、今回は一番やりたかったことを、満を持してやるという感じがします。

人間関係の可笑しさや哀しさを、軽快なテンポで描く会話劇で定評のある劇団『MONO』。30周年を迎える今、劇団初となるコント公演の開幕を前に、作・演出・出演の土田英生さんと、出演の奥村泰彦さん、高橋明日香さんに、お話を伺いました。

今回、30周年記念公演として「コント公演」を選ばれた理由は？

土田 今までにも三鷹のホールでは何度か公演をさせていただいてきましたが、今回30周年を迎えるにあたり、何か特別感を出したいなと思い、新しいことができないかなと模索していく中で、「コント公演」にチャレンジしたいと思うようになりました。

劇団として「コント公演」は初めてですか？

土田 今から10年前、20周年の時に、チャーホフの戯曲をベースに書いた、笑いに特化した公演『チャーホフを待ちながら』(2009年10月/AI・HALL)を上演したことはあるのですが、その時は「コント公演」とは銘打っていませんでしたので、今回が初めてとなります。実のところ、僕は笑いが一番好きなんです。ただ、昨今の芸人さんに多い「一発芸的な笑い」を作るのは好きじゃなくて、「上手な役者がきちんと演じた時に生まれる笑い」が好きなんです。演劇をしっかりとやっている人が作るもののほうが、断然面白いと

僕は思っているんです。そういう意味では、今回は一番やりたかったことを、満を持してやるという感じがします。

MONOの舞台も、会話の中から自然に生まれる笑いに満ちていますね。



土田英生

土田 そうなんです。ただ、今回は「コント公演」と銘打ちますから、いつもよりも逃げ道が無いなあと(笑)。物語だと、笑いが起きようが起きなからうが進んでいけますし、仮にウケなくても「別に笑わせようとしてるシーンじゃないよ」という顔をして続けていけばよいのですが、「コント公演」ですから、笑いが起きないと怖いなあというのはあります(笑)。

自分のセリフで大きな笑いが起こると、役者冥利に尽きるという感じですか？

奥村 いやあ、快感とか言う人もいますが、僕としては、ウケると「肩の荷が降りる」って感じですね。

土田 またまた、そんなこと言って(笑)。彼は間違いなく、快感を感じているはずですよ(笑)。

奥村 そんなことないですよ(笑)。というか、MONOの公演において、僕は比較的、笑いを担う役どころが多いんですよ。

土田 そういえば、ちょっと他人とずれてたり、間が抜けてたりする役が多いですね。

奥村 「しっかり演じさえすれば、ここは笑いが来るはずだ」というシーンが多くて、緊張するんですよ。だから、取れるはずのところできっかり笑いが取れると「よし!」と(笑)。そういう意味で、肩の荷が降りる感じなんです。



奥村泰彦

高橋 先輩劇団員の奥村さんでもそう思われるんだなと、ちょっと「コント公演」に緊張してきました(笑)。

今回の「コント公演」のタイトルは『涙目コント』ですね。

土田 普段から僕は、「笑い」と「笑じゃないもの」の境界線を書きたいと思っています。例えば、お葬式のシーンで、誰かが足が痺れて、立とうとした瞬間に転んでしまったとする。そんな時、それ一連の動き自体は滑稽で、笑ってしまうシーンになるかもしれないけれど、そこまでに、その人と故人の関係を丁寧に書き込んでいると、足が痺れているということ自体が悲しいシーンに感じるかもしれないと思うんです。そんな風に、表現というのは見え方によって、人間模様がまったく変わってくるんですね。だから「コント公演」ということで笑いを作ってはいいんだけど、今まで演劇で培ってきたものを生かしてい



インタビュー

たいし、「コント公演」と謳っているのに泣けてしまうような作品に仕上げたいなと思い、『涙目コント』というタイトルにしました。



高橋明日香

最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

高橋 できるだけいっぱい笑いが取れるように頑張ります。新人4人も含め、集団として笑いが作れたらいいなと思います。

奥村 タイトルどおり「笑いながら、ふと涙が出る」というような、ちょっとストーリー性のあるコント公演になるとと思います。いつものMONO公演を観に来る感じで、気軽に楽しんでもらえたらと思います。

土田 MONOのアンサンブル的な持ち味はしっかりと生かしつつ、コントですので、より自由な発想で、今までとは違うMONOの姿を見せられたらと、やったことがなかったこともやれたらと思っています。今までMONOを観てくださった方も、初めてという方も、楽しめる作品にしたいと思います。ぜひ、ご覧ください。

インタビュー：森元隆樹(当財団 演劇企画員)
2019年4月16日 / 三鷹市芸術文化センターにてインタビュー

ここで紹介しきれなかったインタビューの全文は、財団HPに掲載しています。

チケット発売中!

MONO 涙目コント

8月1日(木)～8月4日(日)

脚本・演出 土田英生
脚本提供 前川知大(イクウメ/カタルツツ)、横山拓也(iaku)、平塚直隆(オイスターズ)
出演 奥村泰彦、金替康博、土田英生、石丸奈菜美、高橋明日香、立川 茜、渡辺啓太
声の出演 水沼 健、尾方宣久

『ハテノウタ』
2018年3月 / 東京芸術劇場シアターウエスト / 撮影：井上嘉和

演劇

6

芸術文化センター 星のホール

5

MONO 涙目コント



脚本・演出 土田英生
 脚本提供 前川知大(イキウメ/カタルシツ)
 横山拓也(iaku)
 平塚直隆(オイスターズ)

『涙目コント』とは

MONO結成30周年企画第二弾として発表するのは「笑って泣けるコント」。大切にしてきたアンサンブルと物語をベースに、新たな挑戦をします。MONO、土田英生セレクションなどでタグを組ませてもらっている三鷹でその一步を踏み出します。そこでコント公演です。笑えるだけのものではなく、オチを聞いて涙目になる。さらには全部のエピソードが緩やかなストーリーになっているという作品です。新しい試みに期待してください。お待ちしております。(土田英生)



土田英生

出演 奥村泰彦、金替康博、土田英生、石丸奈菜美、高橋明日香、立川 茜、渡辺啓太
 声の出演 水沼 健、尾方 宣久

8月1日(木)～8月4日(日)

	8/1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)
15:00			●	●
19:00			●	●
19:30	●	●		

チケット
発売中!

全席自由 (日時指定・整理番号付)
 【会員】前売3,000円・当日3,300円
 【一般】前売3,500円・当日3,800円
 【学生】2,000円(前売・当日とも)
 【高校生以下】1,000円(前売・当日とも)
 *未就学児は入場できません。

MONO

1989年、代表の土田英生を中心に、立命館大学の学生劇団のOBで結成。張りつめた状況の中に身を置く普通の人々の佇まいや認識のズレから生じる会話の可笑しさや衰えを軽快なテンポで見せることで評価を得る。結成以降多少のメンバーの変動を経て1998年に男性5名、女性2名のメンバーで固定。2003年に土田の英国留学を機に、男性5名のMONOとなる。2018年、新メンバーが4名入団。2009年、文化庁芸術祭優秀賞を受賞、2017年、大阪文化祭賞優秀賞を受賞

HP | <http://www.c-mono.com/> Twitter | @MONOofficial

『ぶた草の庭』
 2016年3月/ザ・スズナリ
 撮影:谷古宇正彦

企画展示 コピーライター 太宰治

12月15日(日)まで開催中 観覧無料

太宰治の初となる創作集『晩年』、友情を描いた美談で教科書に頻りに採用される「走れメロス」、生家の没落をチェホフの戯曲「桜の園」に見立てて戦後の日本社会を風靡した「斜陽」、最晩年作となった「人間失格」、「グッド・バイ」など、一度耳にすると脳裏に焼き付く作品名によって、作品の世界観はより一層の広がりを見せています。さらに、「斜陽」から「斜陽族」という流行語が生まれたように、時には固有名詞となって世に浸透するほどの力が作品名に秘められており、作家の代名詞にも成り得る重要な役割を担っていることが分かるでしょう。

本展では、時世に応じて洗練された言葉を選ぶことで読者から共感を得てきた太宰治の、魅力溢れる数々の作品名を紹介し、現代で言うコピーライターとしての才覚に迫ります。



『人間失格』昭和23年 筑摩書房

太宰治作品朗読会

各回18:00開演(18:50終演予定) 【定員】各回25人 参加費無料

第112回 8月16日(金)

出演 小西優司
 (劇団 月とスカレット、スカレットイーナ演劇研究所)

朗読作品 「愛と美について」「郷愁」「ア、秋」



劇団を主宰して若手を育成するとともに、脚本・演出を手掛ける俳優の小西優司さん。独特の一人語りで支持を集める小西さんの世界観をお楽しみください。

第113回 9月20日(金)

出演 梶取さより
 (ヴォイストレーナー)

朗読作品 「カチカチ山」(抜粋)



「瘤取」、「浦島さん」で好評を博した梶取さんが、「カチカチ山」を披露します。戦中の太宰作品の中で白眉と称される太宰治のおとぎ話をご堪能ください。

申込締切 第112回 8月6日(火) 必着 / 第113回 9月10日(火) 必着 往復はがき申込

申込方法 往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、④返信用はがきに宛先をご記入の上、当サロン「第〇〇回朗読会係」宛にお送りください。
 *申込は各回につき、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

●太宰治文学サロン

〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階 Tel: 0422-26-9150 入館無料
 開館時間: 10:00-17:30 休館日: 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

名監督×名女優

いつしか、名コンビと呼ばれる、二人がいた。

各回2本立て / 昼夜入替制 / 1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり

全公演 昼の部 11:00 / 夜の部 16:00 上映開始 *未就学児は入場できません。

全席指定 各回 会員 900円 / 一般 1,000円 / 学生 800円

協力：東宝株式会社、日活株式会社、株式会社KADOKAWA、松竹株式会社、TOHO マーケティング株式会社、崑プロ

その意を汲み、その想いを託し、スクリーンの中で呼吸した、二人。他の監督では、他の女優では、決して作りえなかった映画が、ここに。

10月19日(土)

チケット発売日

会員 9月26日(木)

一般 9月27日(金)

	分数	昼の部	夜の部
女が階段を上る時	111	11:00-12:51	16:00-17:51
浮雲	124	13:20-15:24	18:20-20:24

成瀬巳喜男×高峰秀子

【成瀬巳喜男】

1905年(明治38年)東京に生まれる。1920年(大正9年)松竹蒲田撮影所に入社。1930年(昭和5年)短篇ナンセンス喜劇映画『チャンバラ夫婦』で監督デビュー。戦時下においても『鶴八鶴次郎』『歌行燈』『芝居道』などの傑作を残し、戦後も『めし』『浮雲』『稲妻』『山の音』など、数々の名作を世に送り出した、日本映画を代表する巨匠の一人である。1969年(昭和44年)7月2日永眠。享年63歳。

【高峰秀子】

1924年(大正13年)北海道に生まれる。1929年(昭和4年)に、野村芳亭監督の『母』でデビュー。「デコちゃん」と呼ばれ、天才子役スターとして愛された後、大人の女優としても、成瀬巳喜男、木下恵介、小津安二郎、豊田四郎、稲垣浩、五所平之助など、日本映画を彩る錚々たる巨匠のもと、数多くの名画の中で輝き続けた。2010年(平成22年)12月28日永眠。享年86歳。



©TOHO CO., LTD.

『女が階段を上る時』

(東宝 / 1960年 / 111分 / 白黒 / 35mm)

監督：成瀬巳喜男

脚本：菊島隆三 衣装：高峰秀子

出演：高峰秀子、仲代達矢、森雅之、淡路恵子、
団 令子、小沢栄太郎、山茶花 究、沢村貞子

酸いも甘いも、清も濁も、すべて飲み干した者だけが生き残る銀座の夜を、流されることなく泳いできた、雇われマダムの圭子(高峰秀子)。下心を舌で転がす客の男や、成り上がるためなら手管を厭わない後輩のホステス、そして金の無心ばかりする家族に足を取られながらも、前を向き、したたかに生き続ける女の凄みと弱さを、成瀬監督が見事に描ききった傑作である。



©TOHO CO., LTD.

『浮雲』

(東宝 / 1955年 / 124分 / 白黒 / DCP)

監督：成瀬巳喜男

原作：林芙美子『浮雲』 脚本：水木洋子

出演：高峰秀子、森雅之、岡田茉莉子、加東大介、
山形 勲、金子信雄、ロイ・ジェームス、中北千枝子

【監督：成瀬巳喜男 / 主演：高峰秀子】の名コンビが生んだ代表作にして、日本映画が誇る稀代の名作。本作を見た小津安二郎監督は「俺にできないシャインは、溝口の『祇園の姉妹』と、成瀬の『浮雲』だけだ」と語ったという。原作：林芙美子、脚本：水木洋子が紡ぎ出したセリフの美しさを、撮影：玉井正夫、美術：中古智、照明：石井長四郎をはじめとする「成瀬組」の名スタッフが、見事に編み上げていく。

チケット
発売中!

9月28日(土)

	分数	昼の部	夜の部
東京暮色	140	11:00-13:20	16:00-18:20
小早川家の秋	103	13:50-15:33	18:50-20:33



小津安二郎×原節子



©1957 / 2017 松竹株式会社

『東京暮色』

(松竹大船 / 1957年 / 140分 / 白黒 / 35mm)

監督：小津安二郎 脚本：野田高梧、小津安二郎

出演：原節子、有馬稲子、笠智衆、山田五十鈴、
高橋貞二、田浦正巳、中村伸郎、杉村春子

まだ子供が幼い頃に妻に出奔され、男手ひとつで娘二人を育てあげた周吉(笠智衆)だったが、今は次女の明子(有馬稲子)と二人、静かな生活を送っていた。そんなある日、長女の孝子(原節子)が、夫との諍いの果てに、小さな子供を連れて嫁ぎ先から帰ってくる。戸惑いながらも迎え入れる周吉だったが、心中は決して穏やかではない。その頃、次女の明子は、誰にも言えない悩みを一人で抱えていて……。



©TOHO CO., LTD.

『小早川家の秋』

(東宝 / 1961年 / 103分 / カラー / 35mm)

監督：小津安二郎 脚本：野田高梧、小津安二郎

出演：原節子、司葉子、中村鴈治郎、新珠三千代、
小林桂樹、加東大介、団 令子、浪花千栄子

京都伏見の造り酒屋「小早川」の当主・万兵衛(中村鴈治郎)は、十数年ぶりに偶然再会した昔の愛人(浪花千栄子)への想いに火が付き、足繁く通い始める。「昔あれほど死んだ母を泣かせたのに」と、娘(新珠三千代)は父に、きつい言葉を浴びせ続けるが、聞く耳を持つ万兵衛ではない。やがて……。『小早川家』において、早逝した長男の、未亡人役を演じた原節子は、これが最後の小津監督作品への出演となった。



爆笑渦巻く、癖になる味

口跡鮮やか、三遊亭兼好

さんゆうてい けんこう

三遊亭兼好 独演会

毎年春に開催している、桃月庵白酒師匠との二人会も毎回大盛況の中、三遊亭兼好師匠の魅力さをさらに味わえる独演会を、今年も開催します。愛に満ちた人間観察が導く、爽やかな毒舌も心地よく爆笑を誘う、一度聴いたら癖になる実力派、三遊亭兼好の落語を、お楽しみください。

10月20日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員8月3日(土) / 一般8月9日(金)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円



ゲスト/箏:稲葉美和、琵琶:坂田美寿

秋空の如く、天高く

懐広き、市馬の落語

りゅうてい いちば

柳亭市馬 独演会

まさに、真一文字に打ち込まれた竹刀の如く、ぶれることの無い高座の姿。

通を唸らせつつも、落語は初心者という方も大満足の、古典落語の真骨頂。

秋風が心地良き頃、市馬師匠の落語で、晴れやかなひと時を、お過ごしください。

10月27日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員8月3日(土) / 一般8月9日(金)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円



©国立演芸場

まことに疾風怒涛の、講談の雄

衆春貞打、神田松之丞

かんだ まつのじょう

神田松之丞 独演会

講談の大地を一心に切り開いてきた、不世出のフロンティア神田松之丞。来年2月、満を持しての真打昇進とともに、六代目神田伯山の襲名も決定。まさに講談界の今後を背負って立つ、神田松之丞の高座を、たっぷりご堪能ください。

10月22日(火・祝) 昼の部14:00 / 夜の部18:00開演

昼の部と夜の部は、同一演目です。

チケット発売日 会員7月28日(日) / 一般7月30日(火)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

各回 会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

お一人様 2枚まで *ご購入は、昼夜いずれかの1公演のみとさせていただきます。
(注)『昼の部1枚+夜の部1枚』の組み合わせで購入することはできません。



利益の発生するチケットの転売を禁止いたします

インターネットオークションや金券ショップ等における、利益の発生するチケットの転売は、いかなる理由においても固くお断りいたします。

みたか井心亭 茶道体験教室

茶道の基本的な作法などを、本格的な和風建築のみたか井心亭で体験できる教室です。第2回から第4回は、椅子に座りテーブルの上でお茶を点てる立礼という形式で開催します。正座が心配という方でも安心してご参加いただけますので、この機会にぜひご応募ください。



*写真は昨年開催した煎茶・立礼の回の様子です。

第2回 裏千家 8月18日(日)、第3回 表千家 9月8日(日)、第4回 煎茶 10月13日(日) 各回 14:00-16:00 *連続講座ではなく、各回で完結する内容です。講師 三鷹市茶道連盟

【定員】各回15人(未経験者を対象) 【参加費】500円/1人 【対象】小学3年生以上の茶道未経験者

申込締切 第2回 7月27日(土) 必着 / 第3回 8月1日(木) 必着 / 第4回 9月6日(金) 必着 往復はがき申込

申込方法 往復はがきに、①ご希望の回、②参加希望人数(2名様まで)、③参加者全員の氏名・年齢、④代表者の住所、⑤代表者の電話番号、返信用はがきに宛先をご記入の上、下記申込先「茶道体験教室係」宛にお送りください。

*申込は、お1人様各回1通のみ *申込多数の場合は抽選 *申込締切後、1週間程度で抽選結果を記載した返信はがきを投函します。

【今後の予定】第5回 裏千家 12月15日(日)、第6回 表千家 2020年2月16日(日)、第7回 煎茶 2020年3月15日(日)

申込・問合せ みたか井心亭 〒181-0013 三鷹市下連雀2-10-48 *JR三鷹駅南口より徒歩15分 Tel: 0422-46-3922

予告	●春風亭一之輔独演会	12月14日(土) 14:00/18:00	芸術文化センター 星のホール
	●柳家さん喬独演会	12月21日(土) 14:00/18:00	芸術文化センター 星のホール
	●春風亭小朝独演会	2020年1月18日(土) 14:00	三鷹市公会堂 光のホール
	●林家たい平独演会	2020年1月26日(日) 14:00	芸術文化センター 星のホール



『女人哀詞』(昭和6年) 四六書院 装幀:川端龍子

企画展 女人哀詞の時代

9月1日(日)まで開催中

休館日:月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)
*8/13,14は休館

幕末の悲劇の芸者、(唐人お吉)を描いた戯曲「女人哀詞」(昭和5年)を取りあげた企画展です。「お吉」を演じた女優たちの舞台写真や川端龍子の華やかな装幀の初版本と共に、山本有三が描いた「お吉」の物語をお楽しみください。

企画展予告

山本有三 翻訳ものの世界

9月7日(土)~2020年3月8日(日)

山本有三が、作家としての雌伏期に手掛けたストリンドベリ、シュニッツラーといった外国文学の翻訳から、どのような要素を吸収し、独自の向日的な作風を確立するに至ったかを探ります。ご期待ください。

シュニッツラー著 山本有三訳『情婦殺し』(新潮社 大正15年)



三鷹市山本有三記念館・三鷹ネットワーク大学共催 「三鷹市山本有三記念館」 ガイドボランティア養成講座 応募受付中

【全6回】各回 10:30-12:30 受講料無料

【定員】20人 *申込多数の場合は抽選

会場 三鷹ネットワーク大学
(三鷹市下連雀3-24-3三鷹駅前協同ビル3階)

三鷹市山本有三記念館にて、展示や建物の解説を行うガイドボランティアを養成する講座です。講座内容は、山本有三の生涯と作品、近代住宅史、文化財政策まで多岐にわたります。講座修了生には、土・日・祝日を中心にご活動いただきます。

申込条件 全6回受講可能な方

申込締切 9月27日(金)当日消印有効

申込方法 往復はがきに、①参加者氏名・年齢、②住所・電話番号、③申込の動機、
④返信用はがきに宛先をご記入の上、当記念館「ガイドボランティア養成講座係」宛にお送りください。

10月13日(日)	説明	記念館職員
10月27日(日)	講師	武藤康史(武蔵野音楽大学教授)
11月10日(日)	講師	武藤康史(武蔵野音楽大学教授)
11月24日(日)	講師	内田青蔵(神奈川大学教授)
12月1日(日)	講師	内田青蔵(神奈川大学教授)
12月15日(日)	講師	馬場憲一(法政大学名誉教授)

第6回 三鷹市山本有三記念館 スケッチコンテスト 作品募集

当記念館は、作家の山本有三が昭和11(1936)年から昭和21(1946)年まで家族と共に暮らした家です。小説「路傍の石」や、戯曲「米百俵」などの代表作がこの家で書かれました。また、大正時代末期の建物は、三鷹市の有形文化財に指定された本格的な洋風建築です。本コンテストでは、記念館を題材とした絵画作品を募集いたします。あなただけの記念館を描いてみませんか?



第5回山本有三記念館賞
藤井まき子「小春日和の記念館」

協力:株式会社まちづくり三鷹
特定非営利活動法人みたか都市観光協会

募集作品 三鷹市山本有三記念館または有三記念公園を描いたもの

作品募集期間 10月1日(火)~12月8日(日) 必着

スケッチコンテスト

2020年1月18日(土)~26日(日) 10:00-18:00 会場 三鷹市公会堂さんさん館 *1/20(月)は休館

各賞:山本有三記念館賞、市民賞、審査員特別賞 各1点(賞状+記念品贈呈)

審査方法:コンテスト来場者の投票および審査員の推薦に基づき受賞作品を選考します。

アフタヌーン・ミニコンサート

大正末期の洋館に、MJOメンバーの演奏がさわやかに響きわたります。

7月28日(日) 15:00-15:30 会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室A

【参加費】無料 *入館料(300円)が必要です。【参加方法】当日、会場へお越しください。

出演 みたかジュニア・オーケストラ(MJO)有志 *プログラムは決まり次第、財団HP等でお知らせします。



おはなし会 おとぎ話に出てくるような洋館のなかで、おはなしを聴く楽しいひと時をお過ごしください。

9月14日(土) 14:00-14:30 会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室B

話し手 おはなしあずきの会(三鷹市立図書館を中心に活動されているボランティアの皆様)

内容 絵本の読み聞かせ、人形遊びなど

【参加費】無料 *未就学のお子様は、保護者同伴でお越しください。*同伴の保護者様は、入館料(300円)が必要です。

【対象】未就学児~小学1年生程度 【参加方法】当日、会場へお越しください。



●三鷹市山本有三記念館 〒181-0013 三鷹市下連雀2-12-27

Tel: 0422-42-6233 Fax: 0422-41-9827 開館時間 9:30-17:00

休館日:月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館) *展示替えのため、9/3(火)~9/6(金)は臨時休館いたします。

入館料:300円(20名以上の団体200円) *中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料

*「東京・ミュージアムぐるっとパス2019」利用者は無料 *受付にて「年間パスポート(1,000円)」を販売しています。



Pick up

時を超え、大地を揺るがす奇跡の歌声

ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ

KATYA BARULOVA (アンジェリーテ指揮者)

9月に行われる公演に先立って、メッセージをいただきました。今回の日本ツアーにおいても三鷹でしか聴くことのできない作曲家、光田康典さんとの特別なコラボレーションについても触れられています。

来る日本ツアーに向けて、この私のワクワクする思いをシェアできればと思います。

ここ数か月というもの、私は日本の音楽文化についてたくさんの資料を読み、この国の伝統音楽を夢中になって聴いていました。そして、私たちが地理的にはとても離れているものの、世界観や文化的精神的伝統性はとても近いものがあるということに気付いたのです。

とりわけ、素晴らしい作曲家であり音楽家である光田康典さんとのプロジェクトは本当に特別なものです。アンジェリーテによって歌われる光田さんの音楽…その強くドラマティックな楽曲を彩る豊かなコー

ラスは、深く日本の聴衆の皆様への心を捉え、感動を与えることでしよう。このコラボレーションが生み出す音楽には未来があります。「アートの融合」という未来です。

日本のファンの皆様へ、私たちは特別なプログラムを準備しています。私たちの最高の音楽様式が織りなす色彩豊かな絵画、いや、それ以上のものになるでしょう。

皆様と再び出会い、共に素晴らしい音楽の日々を体験できることを心から楽しみにしています。

アンジェリーテ指揮者 KATYA BARULOVA

チケット
発売中!

ブルガリア・日本「3つの周年」記念事業 後援：駐日ブルガリア共和国大使館

時を超え、大地を揺るがす奇跡の歌声

ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ



9月28日(土) 15:00開演

全席指定 託児あり

会員4,500円 / 一般5,000円

U-23 (23歳以下) 3,500円

*未就学児は入場できません。

♪曲目

夢見るトドラ Poglelna e Todora

太鼓を叩く Tapan Bie

森が葉を落とす時 Listni se goro

メフメティオ Mehmetio

最先と最後* (『ゼノギアス』より) ほか

*作曲・編曲・トーク：光田康典



ネマニャ・ラドゥロヴィチ presents ドゥーブル・サンス (弦楽合奏)

ヴァイオリンの奇才、
ラドゥロヴィチ率いるドゥーブル・サンス
陶酔と熱狂 情熱と歓喜
本能を突き動かす、白熱のセッション

2020年3月8日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員9月4日(水) / 一般9月11日(水)

全席指定 会員S席4,950円・A席4,050円
一般S席5,500円・A席4,500円
U-23 (23歳以下/A席限定) 3,500円

託児あり

*未就学児は
入場できません。

♪曲目

J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043
ファイヴ・シーズンズ〜ヴィヴァルディ：『四季』より、セドラー：日本の春
ドヴォルザーク：わが母の教え給いし歌
ストリポール・クストリツァ：ワルツ (映画『オン・ザ・ミルキー・ロード』より)
ハチャトゥリアン：剣の舞 (バレエ『ガイース』より)
リムスキー=コルサコフ/セドラー：《シェヘラザード》op.35



©Edouard Brane

を彩った音楽、アルメニア人ハチャトゥリアンの熱く激しい「剣の舞」も並びます。ネマニャの豊かな音楽性と磨き抜かれた演奏技術、えも言われぬ美音と悪魔のように心を惑わす音が堪能できるのはもちろん、しなやかでパワフルなアンサンブルの醍醐味を満喫できるものばかりです。

超絶技巧、圧倒的なパフォーマンスで魅了するセルビア (旧ユーゴスラヴィア) 出身のヴァイオリニスト、ネマニャ・ラドゥロヴィチが、2013年10月以来実に約6年4か月ぶり3度目の登場です。

今回は、ネマニャが生まれ故郷のセルビアと、現在生活の拠点としているフランスの仲間たちと結成したグループ、「ドゥーブル・サンス」とのプログラムです。ネマニャの盟友セドラーが2011年に作曲した「日本の春」とヴィヴァルディ『四季』の抜粋を組み合わせた『ファイヴ・シーズンズ』、『千夜一夜物語』に基づくリムスキー=コルサコフの『シェヘラザード』(セドラー編曲)を中心としたセットリストが披露されます。

バッハのヴァイオリン協奏曲、狂おしいほどの郷愁を誘うドヴォルザークの作品、世界三大映画祭を制した旧ユーゴスラヴィアの名匠クストリツァの映画

クラシックの伝統と様式感をしっかりと踏まえたネマニャのコンサートは、ロックやファンクのライブにも通じる革新性、自由な精神性に満ちています。だからこそ、日本でもクラシック音楽がお好きな方はもちろん、ロックやファンク、ワールドミュージックのバンド好きな方の心をもガッチリ掴むはず! 世代も国境も超えて支持される“ネマニャの世界”、ぜひともご体感ください。

80

Tokyo
Mitaka
Philharmonia

ミタカ・フィル創立25周年
沼尻×横山×ミタカ・フィル、三者初顔合わせで贈るラヴェル
トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
第80回定期演奏会

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア(管弦楽)
©YUSUKE TAKAMURA沼尻竜典
(指揮・音楽監督)
◎三浦真一

2020年3月14日(土) 15:00開演 (14:00開場)

*14:30から、みたかジュニア・オーケストラによるプレコンサートがあります。

チケット発売日 会員7月31日(水) / 一般8月6日(火)

全席指定 会員S席6,300円・A席5,400円

一般S席7,000円・A席6,000円 / U-23 (23歳以下) 4,000円

●三鷹市内在住・在学の小学生から高校生2,500円*

*会員・一般券ご購入者と同席の場合のみ適用(電話予約のみ)

託児あり

*未就学児は入場できません。

♪曲目 ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調 ほか

横山幸雄(ピアノ) ©アールアンフィニ

1995年、三鷹市芸術文化センター開館と同時に結成されたミタカ・フィルが、2020年に創立25周年を迎えます。この記念すべき年の第80回定期演奏会に、音楽監督の沼尻竜典と同様に三鷹市出身の横山幸雄をソリストに迎え、ラヴェルのピアノ協奏曲をお贈りします。

この曲は、ラヴェルにとっては最後から2番目の作品にあたります。「ラプソディ・イン・ブルー」の作曲者、ガーシュウィンに会った1928年の北米旅行から戻った後に取り組んだこの作品は、当時流行していたジャズ、そして彼自身の故郷でもあるフランスのバスク地方の音楽や、同時代のサティへのオマージュも感じられる独特の雰囲気を持っています。ジャズ・ピアニストのハービー・ハンコックが自身のアルバムで第2楽章を取り上げたこと、人気漫画「のだめカンタービレ」でこの曲を知ったという方もいらっしゃるでしょう。

横山幸雄は1990年ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて、歴代の日本人として最年少で入賞。ラヴェ

ル没後50年の1987年、パリに留学し、当時師事していたジャック・ルヴィエの先生でラヴェル本人に全曲指導を受けたヴラド・ペルルミュテルから直接個人レッスンを受けたこともあるピアニストです。三鷹では数々のシリーズ企画を行い、生誕140年にあたる2015年と翌年にオール・ラヴェル・プログラムの演奏会を2度開催。彼の音選びに見いだされる美意識とロマンティズム、緻密に計算された流麗な音楽の魅力余すことなく伝える演奏が大変好評でした。

沼尻 & ミタカ・フィルのラヴェルと言えば、トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ時代に定期演奏会で演奏した「マ・メール・ロワ(バレエ版)」を含む3作品を収録した2013年のアルバムが挙げられます。淡く繊細な色彩を滲えた夢のような世界を精緻なアンサンブルで細やかに描いた演奏が、高く評価されました。

「管弦楽の魔術師」と謳われたラヴェルの音楽を楽しむのに、絶好の機会となることでしょう。ご期待ください!

好評
企画

リハーサル見学会 本公演の前日に行われるリハーサルの一部をご覧いただく見学会です。

2020年3月13日(金) 14:00-15:00 【定員】60人(先着) *リハーサル内容は事前にお知らせができません。予めご了承ください。

【要予約】Tel: 0422-47-5122 【受付開始】会員7月31日(水) / 一般8月6日(火)

【参加方法】本公演のチケット持参の方は無料。見学会のみご希望の場合は、当日500円をいただきます。 *2階正面席よりご覧いただけます。

フランス発 音楽の女神が微笑むバロック・サウンド

アマンディーヌ・ベイエ & リ・インコーニティ

©OscarVazquez

THEATER OF TIME
時の劇場～オール・ヴィヴァルディ・プログラム
ヴィヴァルディ『四季』

♪曲目 ヴィヴァルディ

歌劇『オリンピアード』よりシンフォニア ハ長調 RV725
チェロ協奏曲 イ短調 RV421
ヴァイオリンとオルガンのための協奏曲 ト短調 RV517
ヴァイオリン協奏曲集『四季』全曲 Op.8 No.1~4

出演 アルバ・ロカ / 川久保洋子 (ヴァイオリン)
マルタ・パラモ (ヴィオラ)
マルコ・チェウカート (チェロ)
パルドメーロ・バルチエーラ (ヴァイローネ)
フランチェスコ・ロマーノ (アーチリュート)
アンナ・フォンターナ (チェンバロ、オルガン)

アマンディーヌ・ベイエ (ヴァイオリン独奏 / 音楽監督)

2020年3月15日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員9月4日(水) / 一般9月11日(水)

全席指定 会員S席4,500円・A席3,600円
一般S席5,000円・A席4,000円
U-23 (23歳以下/A席限定) 3,000円

託児あり *未就学児は入場できません。

©clara-honorato



フランス古楽界の新世代を代表するバロック・ヴァイオリン奏者、アマンディーヌ・ベイエと彼女が2006年に結成したアンサンブル、「リ・インコーニティ」とともに、風のホールに初登場します。

ベイエのヴァイオリンは、彼女の故郷、南仏のさんと降り注ぐ太陽の光のような輝きと、溢れ出る色彩感、生きる喜びがダイレクトに伝わるような弾けるリズムが特徴。愛情たっぷりに音楽と向き合い、慈しみ、そして作品とともに戯れるようにスイングするヴァイオリンは、聴く者をうっとり、そして幸せにする魔法を持っています。リ・インコーニティのアンサンブルは力みが全くなく、緩急自在。幅広いダイナミックレンジ、作品への丁寧かつ繊細なアプローチが非常に心地よく、誰もが一度耳にすれば虜になる魅力があります。

彼女たちは、バロック・ヴァイオリンの鬼才、カルミニョーラ、フォルテピアノの名手、リュビモフとベザイデンホウトとの共演でも知られています。また、ベイエと一部のメンバーは、2018-19年にはベルギーのダンスカンパニー「ローザス」と「ビー・ロック・オーケストラ」との共演で、パッサの「ブランデンブルク協奏曲」による大規模なツアー(ベルリン、ニューヨークをはじめとする世界40都市で開催)に参加します。

今回は、「時の劇場」と名付けられた「オール・ヴィヴァルディ・プログラム」で、名曲『四季』を中心とした、さまざまな楽器による魅力的な協奏曲の数々を披露。ベイエ率いるリ・インコーニティのメンバーは、しなやかなリズム感あふれるアンサンブルと音色で、遥か昔、イタリアで生まれた音楽をこれまでよりぐっと身近に、温かみを持って感じられるような演奏を繰り広げることでしょう。

音楽

18

芸術文化センター風のホール

音楽

17

芸術文化センター風のホール



みたかジュニア・オーケストラ (MJO) 第5回オータム・コンサート

結団20周年♪
MJOが贈る
「ピーターとおおかみ」



出演 内藤佳有 (指揮) 小川正毅 (指揮)
原きよ (ピーターとおおかみ 語り)
みたかジュニア・オーケストラ (管弦楽)

後援: 三鷹市・三鷹市教育委員会

10月20日 (日) 14:00 開演

チケット発売日 会員 7月24日 (水)
一般 7月25日 (木)

全席指定 **託児あり** **4歳~入場可**

会員800円 / 一般1,000円 / 小学生~高校生800円

未就学児 (4歳以上) 無料 *3歳以下のお子さまのご入場はご遠慮ください。

三鷹市内在住・在学の小学生~高校生500円 (電話予約のみ)



♪ 曲目

第1部 W.A. モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲 K.492 原きよ
テレマン: ソナタ第2番 二長調 Op.2 TWV 40:102 (ヴァイオリン・デュオ)
テレマン: 4つのヴァイオリンのための協奏曲 八長調 TWV 40:203
八木澤教司: フルート四重奏曲「コロラトゥーラ」
ヴィヴァルディ: 「調和の靈感」より

4つのヴァイオリンのための協奏曲 短調 RV 580
ヘンデル=ハルヴォルセン: パッサカリヤ (ヴァイオリンとチェロによるデュオ)
ダンツイ: 木管五重奏曲 変ロ長調 op.56-1

第2部 ブラムス: ハイドンの主題による変奏曲【管・打楽器によるアンサンブル】
W.A. モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジーク【弦楽合奏】
プロコフィエフ: ピーターとおおかみ (語り: 原きよ)



みたかジュニア・オーケストラ (MJO) は、1999年の発足当初からみなさんの温かい応援をいただきながら成長し、今年で設立20周年を迎えます。

第1部での有志によるアンサンブルは、デュエットから木管五重奏まで6作品を演奏します。特にヘンデル=ハルヴォルセンの難曲「パッサカリヤ」に挑む2人の団員の演奏やヴィヴァルディの作品では、

MJOのメンバーならではのオリジナルの編成で演奏しますので、ご注目ください。

第2部は、クラシックの名曲2作品と、朗読家の原きよさんをお招きして、MJO史上初の語りとのコラボレーションで演奏する「ピーターとおおかみ」をお届けします。

20周年にふさわしい豪華なプログラムが勢ぞろい! 団員たちの渾身の演奏をご期待ください。

News! 今年は浜松市でも演奏します♪

ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2019 in Hamamatsu



ジュニアオーケストラ・フェスティバル
2016 in Niigataの様子

2019年 **8月18日 (日) 13:00 開演** **会場** アクトシティ浜松 大ホール

全国で活躍する多くのジュニアオーケストラの中から、「全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会」に加盟し、交流を続けている8つの団体が静岡県浜松市に集結します!

相互の交流により公立ジュニアオーケストラの更なる向上を目的としたこのフェスティバルは、2001

年新潟、2004年浜松、2007年、2010年、2013年、2016年新潟に続き7回目。各団体の20分ずつの単独演奏に加え、8団体選抜メンバーによる合同フェスティバル・オーケストラが演奏いたします。MJOはプロコフィエフ作曲: 交響曲第1番ニ長調「古典交響曲」op.25を演奏します!

*「ジュニアオーケストラ・フェスティバル2019 in Hamamatsu」の詳細 (チケットご購入等) は、
(公財) 浜松市文化振興財団 (Tel: 053-451-1151) にお問い合わせください。

みたかジュニア・オーケストラ (MJO) 団員募集中!



音楽が大好きで、オーケストラの団員として活動してみたい方を募集しています!
見学も随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください!
募集パートは、みたかジュニア・オーケストラのHPをご覧ください。

<http://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/mjo/>

問合せ みたかジュニア・オーケストラ担当 Tel: 0422-47-9100



この演奏会は、
競輪の補助を受けて開催します。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

子どもアートクラブ



むかし、いま、みらい、
3つの場面を作り出そう

9月16日 (月・祝) 13:30-16:00

会場 三鷹市芸術文化センター地下1階
アートスタジオ

企画・進行 NPO MAG-net (マグネット)

【対象・定員】 小中学生・30人

【参加費】 1,500円 (材料費・税込み)

申込方法 往復はがきまたは Fax (0422-79-0030) にて①住所、②氏名 (ふりがな)、③性別、④学校名、⑤学年、⑥電話番号・Fax番号 (Faxでお申し込みの方にはFaxで返信します)、⑦どこから情報を得たのか、⑧往復はがきの方は返信用はがき宛先 (住所・氏名) をご記入のうえ、〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1 三鷹市美術ギャラリー 子どもアートクラブ係宛にお送りください。

申込締切 9月5日 (木) 必着 *申込多数の場合は抽選

往復はがき申込 *Fax 申込も可

問合せ 三鷹市美術ギャラリー Tel: 0422-79-0033



支援が必要な未就学児、教育支援学級に通う小学生が対象 「サッカー教室」を開催します！

多くの仲間たちと一緒に思いっきり体を動かして
「体を動かす楽しさ」や「スポーツの楽しさ」を味わいましょう！
指導は発達支援の指導経験を持つFC東京のコーチなどが担当するので安心です。

9月22日(日)

- **未就学児～小学2年生 9:15-10:15** (9:00受付開始)
ボール遊びを中心に、体を動かす楽しさを体験します。
- **小学3～6年生 10:30-11:45** (10:15受付開始)
ゲームを取り入れながら、サッカーの楽しさを体験します。

会場 SUBARU総合スポーツセンター サブアリーナ

【定員】 各20人 *申込多数の場合は抽選

【参加費】 500円

【持ち物】 動きやすい服装、室内用の運動シューズ、
タオル、ふた付きの飲み物

申込期間 8月4日(日)～9月1日(日)

講師

くわいけんを
鯨井健太

(グラスルーツコーディネーター)
ニックネーム：くじらコーチ

ライセンス

JFA公認A級U-12
JFA公認キッズリーダーインストラクター
FIFAグラスルーツコース修了
JPSA公認中級障がい者スポーツ指導員



©FC.TOKYO

日本体育大学時代よりFC東京普及部
アシスタントコーチとして指導経験を積む。
2010年にFC東京へ加入後は「くじら
コーチ」の愛称で親しまれ、スクール生に
も人気が高い。明るく楽しく元気に子ども
たちの指導にあたる。

第3期 (2019年10～12月) スポーツ教室の募集について

「スポーツの秋」という言葉に象徴されるように、
秋はスポーツを始めるには良い季節ですね。
汗を流して心も体もリフレッシュしてみませんか。

【教室開催期日】 10月上旬～12月下旬予定

申込期間 8月中旬以降 **申込方法** 講座申込システム

*都合により上記日程が変更になる場合があります。最新の情報はHPにてご確認ください。

*正式手続き期間終了後、定員に空きのある教室は2次募集をいたします。詳細はHPにてご案内いたします。

ご不明な点は、お電話または地下1階の運動施設事務室までお気軽にお問い合わせください。



おすすめプログラム

初めてヨガ

コンディショニング系プログラム

【対象】 高校生相当年齢以上

「呼吸」に意識を向けることを大切にしながら、シンプルなポーズを行っていきます。体の中から健康になりたい方におすすめのクラスです。柔軟性よりもリラックスを重視し、ご自身のための心地良い時間を過ごしましょう！



ファイトアタックBEAT

格闘系脂肪燃焼系プログラム

【対象】 高校生相当年齢以上

本格的な格闘技動作を音楽に合わせて楽しく行う教室です。3か月間同じ動きで行うので初めて参加する方でも、だんだん動きに慣れていくことができます。パンチやキックの動作は体幹部の強化や全身のシェイプアップに効果的で、脂肪燃焼や日頃のストレス発散などにもオススメです。これから運動を始めた方やしつかり汗を流したい方、お待ちしております。



太極拳

オリエンタル系プログラム

【対象】 16歳以上

太極拳を楽しく学んでいく教室です。どのような年代の方でもいつでも始めることができ、一生続けられる運動です。繰り返し練習することで、血流が促進され、柔軟性・新陳代謝が向上します。長く続けられることで、変化する体を感じてみてください。



健康体操

高齢者・低体力者向けプログラム

【対象】 高校生相当年齢以上

さまざまな方法で適度に体を動かします。体力に自信の無い方、中高年の方も、どうぞご参加ください。楽しく、無理なく、運動習慣を身につけましょう！



- **時間を決めて通うのが難しい方には「ワンコイン教室」がオススメです！**

【参加費】 500円 / 1回 **初めての方でも安心してご参加いただけるプログラムばかりです。**

【例】 バランスボール・ダイエットサーキット・エンジョイアクア・クロー呼吸練習 など

- **定期教室に参加する前に体験もできます。** (定員に満たしていない教室に限りです。)

【体験費用】 1,200円 / 1回 **詳細は、電話または地下1階運動施設事務室にてご確認ください。**

申込・問合せ

- **SUBARU総合スポーツセンター** [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ内 Tel: 0422-45-1113
開館時間：9:00～22:00 休館日：毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
- **講座申込システム** <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

三鷹市生涯学習センターフェスティバル 参加グループ募集

多くの方に生涯学習の楽しさを体験してもらうとともに、自主グループの日頃の学習活動を紹介・発表していただくため、「三鷹市生涯学習センターフェスティバル」を開催します。皆さんのグループの活動紹介や活動内容を生かして、来場した方たちが楽しめる内容を企画してみませんか。皆さんのご参加をお待ちしています。



三鷹市生涯学習センターフェスティバル

開催日 12月7日(土)・8日(日)

10:00-17:00 (最終日は16:00まで) **会場** 生涯学習センター

● **打ち合わせ会の日程** *参加グループは打ち合わせ会への出席が必要です。

第1回 9/12(木)、第2回 10/10(木)、

第3回 11/14(木)、第4回 [反省会] 12/12(木) 各回 13:30-15:30

【保育定員】5人 *満1歳以上の未就学児(ほしのこの登録手続きが必要)

申込締切 8月28日(水)

申込方法 所定の申込書*を生涯学習センターへご提出ください。

*申込書は、生涯学習センター窓口で配布(HPからダウンロードもできます)

● **部門について** *昨年度に喫茶部門でお申し込みされたグループは、展示・販売部門にご参加ください。

【展示・販売部門】手芸、陶芸、絵画、俳句、漢詩、絵手紙、洋裁、パソコンなどの活動グループによる、作品の展示・販売、ケーキやお菓子、飲み物などの販売、ワークショップ、活動紹介 など

【演技部門】ダンス、民謡、合唱、演奏、演劇、マジックなどの活動グループによる、舞台での発表

やさしいジャズ・ヴォーカル

「一度はジャズを歌ってみたい」と思っているあなた、ぜひこの機会をご利用するのはいかがですか? ジャズスタンダードナンバーの中でも人気の作品をピックアップ致しました。レッスンでは、英語歌詞の説明や発音練習など細かくプロセスを踏んで進めるので、譜面が読めなくても英語が話せなくても問題ありません。さらにジャズを歌うための声作りも行います。声量、音域、声の艶などを手に入れながら、ジャズ・ヴォーカルと一緒に楽しんでいきましょう! どうぞお気軽にご参加ください!



Shoko

講師 Shoko (奥村しょうこ / Voice+Creation, Shoko Vocal School代表)

♪ 曲目 「You'd be so nice to come home to」「It's only a paper moon」「Misty」

9月11日(水)・25日(水)・10月9日(水)

各回 13:00-14:30 *3回連続講座です。 **会場** 生涯学習センター ホール

【定員】30人(16歳以上の方) *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 【受講料】3,000円(全3回)

申込期間 8月5日(月)~26日(月) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき



往復はがき申込

小学4~6年生
対象

ラジオ工作教室

協力: 日本無線株式会社

自分でエナメル線を巻いたり、はんだ付けしたりしてラジオを組み立てることで、ものづくりの楽しさを体験します。完成したら、その場でラジオを聴くことができます。日本無線株式会社のスタッフの方が完成までサポートするので、工作に自信がない子でも大丈夫です。



8月24日(土) 13:30-15:30

受講料無料

会場 生涯学習センター ホール

【定員】24人 *申込多数の場合は抽選、初めての方優先 【対象】三鷹市内在住・在学の小学4~6年生

申込期間 7月21日(日)~8月13日(火) *最終日は17:00まで

申込方法 生涯学習センター窓口、講座申込システムまたは電話

世界5大ウイスキーの魅力を探る

*ウイスキーの試飲あり

スコットランド、アイルランド、アメリカ、カナダ、日本のウイスキーは、世界5大ウイスキーと呼ばれています。本講座では、世界を代表する5か国のウイスキーを味わいながら、それぞれの歴史、違いや魅力について、そして日本がどのようにしてウイスキー大国になったのかを学んでいきます。皆さんのご参加をお待ちしております。

講師 佐藤 一 (アサヒビール株式会社マーケティング本部 専任部長 第6代ウイスキーアンバサダー)

9月7日(土) 15:00-17:00 **会場** 生涯学習センター ホール

【定員】30人(20歳以上の方) *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 【受講料】1,000円

往復はがき申込

申込期間 7月18日(木)~8月13日(火) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき

夏休み限定! 自習用に学習室を開放します!

暑くて長い夏休み、家ではなかなか宿題や勉強が進まない...、そんなときは、生涯学習センターの学習室を利用してみませんか。ひとりで集中したい方も、グループで集まってしっかり勉強したい方も、みんな集まれ!



7月20日(土)~8月31日(土) 9:00-17:00 *7/22(月)、8/26(月)は休館

【対象】小学生、中学生、高校生、その他(予備校生や大学生など)

【利用場所】生涯学習センター 学習室1 *都合により会場は変更になる場合があります。

利用方法 生涯学習センター受付窓口にお越しいただき、利用者名簿に氏名、連絡先をご記入の上、ご利用ください。

*この期間中は、日曜日を実施している5階学習室の開放を休止いたします。

往復はがき申込

返信用表面に住所、氏名、往信用裏面に、講座名、氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載 *詳細はHPをご覧ください。

申込・問合せ

● **三鷹市生涯学習センター** [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>

〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel: 0422-49-2521

開館時間: 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)

● **講座申込システム** <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

Event Schedule

三鷹市芸術文化センター 風のホール

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第79回定期演奏会 7月27日(土) 15:00開演

ウィーン=ベルリン プラス・クインテット 9月16日(月・祝) 15:00開演

ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ 9月28日(土) 15:00開演

アンサンブル・ウィーン=ベルリン 9月29日(日) 15:00開演

吉井瑞穂 (オーボエ) & 鈴木大介 (ギター) 10月12日(土) 15:00開演

みたかジュニア・オーケストラ 第5回 オータム・コンサート 10月20日(日) 14:00開演

福岡洸太郎 ピアノ・リサイタル 11月17日(日) 14:00開演

ネマニャ・ラドロヴィチ presents ドーブル・サンス 2020年3月8日(日) 14:00開演

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第80回定期演奏会 2020年3月14日(土) 15:00開演

アマンディヌ・ベイエ & リンコーニティ オール・ヴィヴァルディ・プログラム 2020年3月15日(日) 14:00開演

三鷹市芸術文化センター 星のホール

第19回 太宰を聴く 出演: 田中哲司

古今亭菊之丞 独演会 7月21日(日) 14:00開演

MONO『涙目コント』 8月1日(木)~8月4日(日) 全5公演

柳家喬太郎 みたか勉強会 8月10日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演

*チケット購入枚数に、制限のある公演があります。 *U-23・U-25利用の中学生以上の方、0-60・0-70利用の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。 *学生券をお求めの方は、公演当日に学生証をご持参ください。

MITAKA "Next" Selection 20th 8月23日(金)~9月1日(日) 全12公演

第27班「潜狂」 8月23日(金)~9月1日(日) 全12公演

犬飼勝哉『ノーマル』 9月6日(金)~16日(月・祝) 全12公演

ゆうめい『姿』 10月4日(金)~14日(月・祝) 全13公演

立川志らく 独演会 9月21日(土) 14:00開演

桃月庵白酒 独演会 9月22日(日) 14:00開演

CINEMA SPECIAL 名監督×名女優 昼の部11:00/夜の部16:00上映開始

9月28日(土) 小津安二郎×原節子 『東京暮色』『小早川家の秋』

10月19日(土) 成瀬巳喜男×高峰秀子 『女が階段を上る時』『浮雲』

柳家権太楼 独演会 9月29日(日) 14:00開演

三遊亭兼好 独演会 10月20日(日) 14:00開演

神田松之丞 独演会 10月22日(火・祝) 昼の部14:00/夜の部18:00開演

柳亭市馬 独演会 10月27日(日) 14:00開演

三鷹市芸術文化センター

ワークショップ 音楽のとびら ●[親子グループ] わらべうたや世界の民謡をうたおう 7月31日(水)・10月23日(水) 9:45-10:45 *各回1日完結

*公演内容等は変更になる場合がございます。 *公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。 *當利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。

活版印刷ワークショップ 「路傍の石」吾一体験! 文選ってどんな仕事? 8月3日(土) 13:00-15:00

三鷹市芸術文化センター 全部見てくださいツアー 8月7日(水) 午前の部10:00-12:30 午後の部14:00-16:30

子どもアートクラブ 時間旅行へ出かけよう 9月16日(月・祝) 13:30-16:00

三鷹市公会堂 光のホール

三鷹市公会堂 探検ツアー 7月24日(水) 午前の部10:00-11:30/午後の部14:00-15:30

ファミリーコンサート in 光のホール 赤ちゃんからのクラシック 8月25日(日) 14:00開演

みたか井心亭

第2回 裏千家 茶道体験教室 8月18日(日) 14:00-16:00

第3回 表千家 茶道体験教室 9月8日(日) 14:00-16:00

第4回 煎茶 茶道体験教室 10月13日(日) 14:00-16:00

*寄席井心亭 10/23・11/13・11/20・12/18の回は、完売しました。

三鷹市美術ギャラリー

企画展 日日はアート ニューヨーク、依田家の50年展 9月8日(日) まで開催中 10:00-20:00

三鷹市山本有三記念館

企画展 女人哀詞の時代 9月1日(日) まで開催中 9:30-17:00

企画展予告 山本有三 翻訳ものの世界 9月7日(土)~2020年3月8日(日)

アフタヌーン・ミニコンサート 7月28日(日) 15:00-15:30

*情報誌の作成中にチケットが完売となる場合がございますので、ご了承ください。 *風のホール2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。 *次号のMARCL*149は2019年9月18日発行予定です。

おはなし会 9月14日(土) 14:00-14:30

ガイドボランティア養成講座 全6回 10月13日(日)~12月15日(日) 10:30-12:30

第6回 三鷹市山本有三記念館 スケッチコンテスト 作品募集 10月1日(火)~12月8日(日)

太宰治文学サロン

企画展示 コピーライター 太宰治 12月15日(日) まで開催中 10:00-17:30

太宰治作品朗読会 第112回 8月16日(金) 18:00-18:50

太宰治作品朗読会 第113回 9月20日(金) 18:00-18:50

SUBARU総合スポーツセンター

サッカー教室 9月22日(日) ①9:15-②10:30- 8月4日(日)~9月1日(日)

第3期スポーツ教室 10月上旬~12月下旬 8月中旬以降

三鷹市生涯学習センター

生涯学習センターフェスティバル 参加グループ募集 8月28日(水)

ラジオ工作教室 8月24日(土) 13:30-15:30

世界5大ウイスキーの魅力を探る 9月7日(土) 15:00-17:00

やさしいジャズ・ヴォーカル 9月11日(水)・25日(水)・10月9日(水) 13:00-14:30